

小野郷学区

・人口 182 人
 ・世帯数 112 世帯

*人口、世帯数は令和8年1月1日現在
 (京都市住民基本台帳より)

〈住民組織の名称〉

小野郷自治会

〈主な年間行事〉

- 7月 井戸端サロン
- 8月 夏まつり
- 9月 ひとり暮らしの高齢者（75歳以上）
へお弁当配布（手作り）
区民運動会
- 10月 井戸端サロン
岩戸落葉神社・大森賀茂神社祭礼
- 11月 岩戸落葉神社ライトアップ
- 1月 岩戸落葉神社・大森賀茂神社新年祭
ひとり暮らしの高齢者（75歳以上）
へお弁当配布（購入）
- 3月 ひとり暮らしの高齢者（75歳以上）
へお弁当配布（手作り）

岩戸落葉神社ライトアップ



〈学区の概要・活動PR〉

京都市北区の最北端に小野郷があり、四方山に囲まれた自然豊かなまちです。近年、高齢化が進んでいるものの地域の伝統や行事を大切に守り続けています。学区内には、イチヨウの紅葉で有名な岩戸落葉神社や、京都市無形文化財の日下部邸、京都市文化財安楽寺の薬師如来像等その他、多くの名所が点在しています。

○高齢者の活性化

小野郷学区は、高齢化が急激に進みひとり暮らしの高齢者が増えており、小野郷自治振興会では高齢者が安心して快適に暮らせるまちづくりを目指して、平成24年から福祉を重点に取り組んできました。

高齢者が楽しく集える「井戸端サロン」や75歳以上のひとり暮らしの高齢者にまちづくり委員会の女性の手作り弁当の配布など、佛教大学生と共に取り組んでいます。北山地域に福祉施設を誘致し、高齢者が安心して日常生活ができるようにと、中川学区と共に精力的に取り組む、「北山杉いこいの家」がようやく完成しました。

今後も、小野郷自治振興会では更に福祉に重点を置いたまちづくりに取り組んでいきます。



雪の岩戸落葉神社



井戸端サロン

○福祉の充実



北山杉いこいの家

この地域は住民平均年齢が65歳を超えました。高齢者がいつまでも住み慣れた土地で暮らせるよう福祉活動を重点に取り組んでいます。地域の役員を先頭に佛教大学との交流は、各関係機関の全面的なご協力を得ながらの活動は、高齢者に暖かく受け入れられ、喜んでいただいています。また、平成28年にオープンしたデイサービスセンター「北山杉いこいの家」において同じ北山地域にある中川治振興協議会と共同で高齢者の居場所づくりとしてサロンを月1回開催し参加者に喜ばれています。

○大好き小野郷

四季折々の景色を楽しめる風光明媚な小野郷ですが、現在過疎化と高齢化のため、人口減少に歯止めがかかりません。

地域活性化と人口増に向けて、大学や行政と連携、また自治振興会内に「移住促進委員会」を立ち上げ「かがやき隊」も配置して取組を進めています。更に豊かな自然を活用して、新たな産業を創出することも重要ではないかと考えています。

これからも積極的に『魅力ある地域づくり』に携わっていきたいと思います。